

シニア産業カウンセラー試験について

試験部

現シニア産業カウンセラー試験（以下、現シニア試験）及び新シニア産業カウンセラー試験（以下、新シニア試験）の実施スケジュールは以下のとおりです。

講座および試験の移行スケジュール

年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
現シニアコース講座	開講	開講	開講	開講			
現シニア試験	終了	実施	実施	実施	実施*1	実施*1	
新シニア育成講座		部分開講	部分開講	部分開講	開講	開講	開講
新シニア試験					実施	実施	実施

(*1 2013年3月末時点で、現シニア試験の受験資格を有する方は受験できません)

現シニア試験と新シニア試験の受験可能時期は、2013年3月末時点での現シニア試験の受験資格の有無により下記のようになります。なお、新シニア試験の実施方法については現在検討中です。

1. 【2013年3月末時点で、現シニア試験の受験資格を有する方】

2016年度まで現シニア試験を受験することができます。2016年度までにシニア産業カウンセラー資格の取得ができない場合は、新シニア育成講座を42時間以上受講することにより、2017年度からの新シニア試験を受験することができます。

2. 【2013年3月末時点で、現シニア講座受講中で、現シニア試験の受験資格がない方】

2014年3月末に①②のいずれかを選択してください。

パターン① 現シニア講座を継続し修了 ⇒ 現シニア試験

現シニア試験を2018年度まで受験することができます。2018年度までにシニア資格の取得ができない場合は、新シニア育成講座を42時間以上受講することにより、2019年度からの新シニア試験を受験することができます。

パターン② 2014年度から新シニア育成講座に移行し修了 ⇒ 新シニア試験

2017年度からの新シニア試験を受験してください。2014年度以降の現シニア試験は受験できません。2014年3月末までに履修した現シニア講座の受講時間は、新シニア育成講座の受講時間として読み替えができます。

2013年度の産業カウンセラー試験(2014年1月実施)の合格者は、新シニア育成講座を修了することにより、2017年度からの新シニア試験を受験することができます。2018年度まで実施される現シニア試験は受験できません。また、現シニア講座の受講時間を新シニア育成講座の受講時間として読み替えることはできません。